

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 日本人における正常 QRS 時間に関する後ろ向き観察研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科科 (研究責任者) 中井 俊子</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2018 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> 心不全に対する心臓再同期療法というペースメーカ治療は心室内伝導障害のある患者さんに有効であり、その適応基準として心電図 QRS 時間\geq120ms とされていますが、欧米では QRS\geq130ms の基準が使用されています。 日本人は欧米人に比し体型が小さいため、心室内の伝導時間が欧米人のそれより短い可能性があり、この基準の違いの妥当性を示すデータ収集を目的とします。 本研究では、日本人の QRS 時間を調査し、男女差をみることで、体型による QRS 時間に違いがあるかどうかを確認したいと考えています。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> これまでに、当院で施行した心電図と心エコー図にて得られた情報を使用させていただき、身長、体重、心臓の大きさ、心電図 QRS 時間を男性、女性で比較し、また身長、体重、心臓の大きさが QRS 時間と相関があるかについて検討します。</p>
<p><対象となる患者さん> 2017 年 1 月 1 日から同年 6 月 30 日の期間に日本大学医学部附属板橋病院循環器内科において心電図検査および心エコー図検査を施行した患者さん</p>
<p><研究の方法> 既に施行された心電図検査、心エコー図検査からデータを取得し、男女差や、それぞれのデータ間の相関について検討します。 ★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<お問い合わせ 窓口>までご連絡ください。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科 氏名: 中井 俊子 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8056</p>